

平成 28 年度第 1 回気高地域振興会議での総合支所耐震化整備に関する議事概要

平成 28 年 4 月 22 日（金）午後 1 時 30 分～

（事務局）

配布資料に基づき説明（略）

（会長）大変身近な問題について、説明があり、4つの案が示された。他にもいろいろな考え方があると私は思うが、皆さんのご意見を伺いたい。

（委員）この度、熊本地震が発生し、公共施設に避難できない住民がいる。屋外で生活している状況もテレビで見ている。今の案では、平米数で言うと職員 30 人で計算しているようだ。もし万が一、地震などの災害が発生した時の避難者の受入などは、今の説明では考慮していないようだ。我々住民ももっとも経費の安いものの方がいいとは思いますが、今後は、それらの事も加味して考えてはどうか。ただ、コスト的にできないということであれば、気高町と鹿野町の合同庁舎を建てたらどうか。2つの建物を一つにして、広いスペースを確保したほうがいいと思う。こういう考え方でもいいのではないか。市は、こういう考え方はもっていないか。

（事務局）支所は、各町に存地するという事で進んでおり、まだ、そのような考え方は出ていません。

（委員）地域の人口もどんどん減り、また職員の数も減っていく。将来的には、新しく建てた庁舎は使わなくてもいいのではないかということになりはしないか。できることから、例えば、用瀬と佐治とかは統合も考えるべきではないか。こういう考え方をもって新築なり改築をすべきではないか。長い目で見ると、ランニングコストも安くなると思う。

（事務局）ご意見として承ります。この整備自体は、合併特例債の期間内の平成 31 年度内に行うように計画しているところです。そういう可能性はあるとは思いますが、いろいろ意見がありなかなか難しいと思います。

（会長）いろいろな案を出していく、それを整理していく方法もあると思っている。

(委員) 支所なり中央公民館の耐震化という案がありますが、かなり建築から年数が経っている。現在、浜村温泉館は休館という状況であり、そこに入るという案もおもしろいように思う。合併した新市域の中で温泉が出るのは、気高と鹿野だけ。支所に温泉があるという事、温泉館の活用という意味でも、面白い案だと思うが。

(委員) 4番目の案に賛成なので、ぜひ現在の場所に増築をしてほしい。古い建物を直してもどうしても耐用年数があり、いずれダメになる。やはり建て替えをすべきだと思う。しっかりした施設があると、もしもの時には、住民が避難することができる。

(委員) 熊本地震では、古い建物を耐震補強はしているがやはり倒壊している状況にあり、建て替えをすべきと思う。今の支所の場所に、コミュニティセンター機能も加えて建て替えをすべきと思う。中央公民館は、アクセスが悪く、支所の場所がいいと思う。ただ、地盤が悪いということもあるが、この支所の場所での建て替えを考えていただきたい。

(会長) やはり中央公民館は、古い建物を見ていると先が不安になるので、こだわらずに考えていくほうがいい。この支所の場所がいいという委員が多いが、他に意見があればどうぞ。熊本の地震を見ると、市庁舎が崩壊するという、あつてはならない状況になっている。このようにならないようにきちっとしていく責任がある。耐震したり、建て増しするだけではなく、しっかりとした施設にすべきと思う。今日で結論を出すものではないので、いろいろな意見を出し合っていきたい。

(委員) ここでの建て替えがいい。

(委員) 今の案には、いろいろメリットとデメリットがある。地盤やどこがいいのかという適地、建設コスト、気高地域の中で支所がどこにあると有効なのか、判断していかないといけない。皆さんの意見とは違うが、中央公民館の耐震化、一部増築がいいのではないか。

(会長) どんどん意見を出し合い、広げていきたい。その後、絞って考えていきたい。

(副会長) 以前、この場所に役場を建てた経過があるかもしれないが、ここや、中央公民館の場所は地盤が悪く、水害の恐れがありそうだ。できれば、高台のほうがいいと思うが、土地がないかもしれない。4つの案の中では、第4案のこの場所での建て替えがいい。

(会長) とても大事なことなので、急がないでしっかりと議論していきたい。

以上